

大阪湾漁場環境速報

平成21年 3月 5日発行
兵庫のり研究所

神戸市沖～湾奥部にかけて、依然として小型珪藻のスケルトネマが大量に増殖しています。今後の天候次第（気温、日照、風）で、小型珪藻の増殖が続く可能性もあるため、珪藻・栄養塩動向に十分注意して下さい。また、詳細は、本日（3/5）発行の珪藻赤潮情報（K0-20-6号 大阪湾）をご覧ください。

（水温）表層は湾内8～10 台で、平均9.6 。 平年（過去10年平均 9.3）比0.3 、 昨年（8.7）比0.9 それぞれ高い。 -10m層は平均9.7 で、平年（9.4）比0.3 高い。

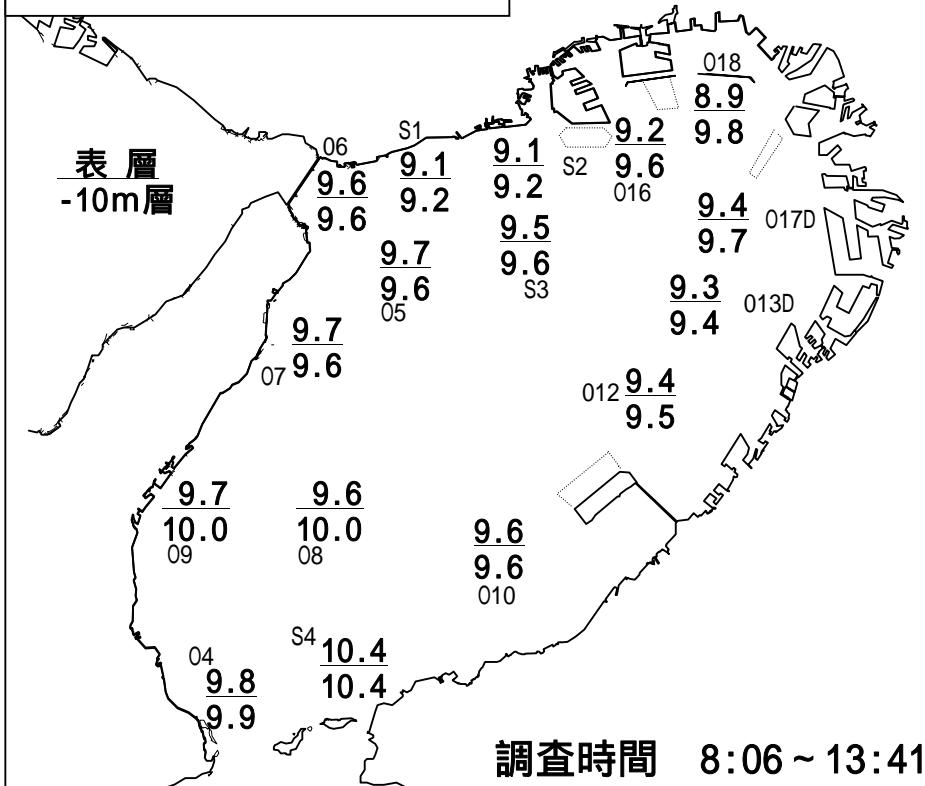
（塩分）表層平均31.59psu（平年 31.54）。 -10m層平均32.13psu（平年 32.27）。 今回調査では、通常、紀淡海峡から流入する海水の影響を受ける湾南部（St.04,08,09）で低い値を示した。

（栄養塩、他）表層の窒素濃度は平均4.6 μg-at/L、リン濃度は平均0.26 μg-at/L。 窒素は平年（6.9）より低く、リンはほぼ平年（0.23）並。 -10m層（平均）は、窒素4.2 μg-at/L、リン0.32 μg-at/L。 表層塩分の低い海域（神戸市沖～湾奥部、特に神戸空港周辺）を中心にスケルトネマが大量に発生しており、リン濃度が著しく低下している。 今回調査では、湾南部（St.08～010 表層）でも発生量が多かった。 河川等からの出水の影響が認められるものの、小型珪藻の大量発生により栄養塩濃度上昇は小さい。 先月同様、湾全域で夜光虫（ノクチルカ）が発生しており、東浦沖で赤潮が確認された。 透明度は3.0～10.0mで、平均6.4m。 珪藻による赤潮域で透明度が低い。 pHは表層平均8.30。

上段（今回値）	平成21年 3月 4日調査
中段（昨年値）	平成20年 3月 5日調査
下段（平年値）	

調査地点	水温 ()	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	燐酸 (μg-at/L)
04	9.8	32.16	4.2	0.30
	9.6	33.05	2.7	0.39
	10.3	32.73	5.0	0.36
05	9.7	31.73	2.8	0.19
	8.5	32.76	1.4	0.27
06	9.6	32.34	3.9	0.38
	8.0	30.98	7.4	0.09
07	9.7	32.10	3.7	0.32
	8.6	32.84	1.4	0.28
08	9.6	31.76	4.0	0.25
	9.0	32.90	1.8	0.31
09	9.7	32.40	3.7	0.27
	9.5	33.04	2.3	0.36
010	9.6	31.98	3.7	0.26
	8.5	32.45	2.0	0.21
012	9.4	32.10	8.7	0.50
	8.5	31.77	5.3	0.10
013D	9.3	30.98	12.8	0.45
	8.4	31.03	10.0	0.17
016	9.2	29.42	8.7	0.16
	8.5	29.45	14.1	0.09
017D	9.4	30.25	7.4	0.14
	8.4	29.32	19.8	0.30
018	8.9	23.03	52.4	1.46
	8.5	31.09	7.5	0.08
S1	9.1	30.80	3.7	0.11
	8.0	30.28	10.9	0.08
S2	9.1	30.28	5.2	0.09
	8.4	29.49	14.4	0.10
S3	9.5	31.44	1.8	0.11
	8.6	31.37	7.2	0.09
S4	10.4	32.75	5.5	0.46
	9.0	32.99	2.3	0.38

水温（表層、-10m層）



窒素濃度（表層、-10m層）

